

# 資格科目

## 司書

### 図書館概論

|         |         |
|---------|---------|
| 担当教員    |         |
| 授業形態    | 講義      |
| 学期      | 後期      |
| 必修・選択の別 | 必修      |
| 対象学生    | 1年司書    |
| 時間数     | 90分×15回 |
| 単位数     | 2単位     |

#### 目標

図書館の歴史と種類を紹介し、図書館および図書館員の社会的、教育的役割を考察する。図書館をめぐる問題を探りながら、図書館に対する理解を深める。履修者は図書館の全貌を得る。

#### 各回の内容

- 1 図書館の理念と目的
- 2 図書館の歴史 ～ 古代・中世・近代
- 3 図書館の歴史 ～ 現代
- 4 図書館の種類（1） ～ 大学・研究・学校・特殊
- 5 図書館の種類（2） ～ 国立・公共
- 6 生涯学習・研究機関としての図書館
- 7 論文の書き方
- 8 図書館情報学教育と図書館員養成
- 9 図書館と法
- 10 図書館ネットワーク
- 11 電子図書館
- 12 図書館の実例
- 13 図書館利用教育
- 14 児童図書館
- 15 図書館サービスの総括

#### 準備学習（授業時間外学習）の内容

参考資料などを読み、論文課題のための文献調査を進める

#### 評価方法

出席と参加態度20%、論文80%

#### 教科書

今まど子著「図書館学基礎資料」第九版

#### 参考資料

アルベルト・マングェル著「図書館 愛読課の楽園」（白水社、2008年）

## 専門資料論

|         |         |
|---------|---------|
| 担当教員    | 二宮嘉須彦   |
| 授業形態    | 講義      |
| 学期      | 後期      |
| 必修・選択の別 | 必修      |
| 対象学生    | 1・2年司書  |
| 時間数     | 45分×15回 |
| 単位数     | 1単位     |

### 目標

人類の文化を人文科学、社会科学、自然科学の各分野別にその知識の構造を理解するためそれぞれの分野の資料について概説するとともに、日本の図書館における現状と課題について考える。

### 各回の内容 (各回2時間)

- 1 暮らしと図書館
- 2 社会教育施設としての図書館機能
- 3 図書館関係法令
- 4 図書館の三要素と五原則
- 5 専門資料の種類及び収集、整理、保存
- 6 専門資料の活用方策とネットワークサービス
- 7 ライブライオンとしての役割、期待は何か

### 準備学習

図書館はなぜ必要なのかという根本的な議論を心得ておくためにも、次の2冊を読んでおくこと。

①「図書館を生きる ―若い図書館員のために―」清水正三著 日本図書館協会、1995 ISBN4-8204-9508-9

②「知る自由の保障と図書館」塩見昇・川崎良孝編著 京都大学図書館情報学研究会発行 日本図書館協会発売、2006 ISBN4-8204-0623-X

### 評価方法

出席と参加態度20%、論文80%

教科書 なし

参考文献 なし

## コミュニケーション論

|         |         |
|---------|---------|
| 担当教員    | 加藤竜哉    |
| 授業形態    | 講義      |
| 学期      | 後期      |
| 必修・選択の別 | 必修      |
| 対象学生    | 1・2年司書  |
| 時間数     | 45分×15回 |
| 単位数     | 1単位     |

### 目標

人間は、進化の道を経て他の動物より高度なコミュニケーション技術を持つようになった。この能力は何のためにあるのか、どう活かせばよいのかを考えてから、現代社会の中のコミュニケーションにおける課題を論じる。また、図書館とコミュニケーションの関係を見つめる。

### 各回の内容

- 1 コミュニケーションとは何か
- 2 動物コミュニケーション
- 3 非言語コミュニケーション
- 4 言葉の出場
- 5 文化はコミュニケーションである
- 6 話し言葉
- 7 書き言葉
- 8 組織とコミュニケーション
- 9 電話のコミュニケーション
- 10 映像とコミュニケーション
- 11 ラジオとテレビの社会学
- 12 国際コミュニケーション
- 13 コンピュータとコミュニケーション
- 14 図書館とコミュニケーション
- 15 コミュニケーション論の総括

### 準備学習 (授業時間外学習) の内容

コミュニケーション学についての文献を閲覧する

### 評価方法

出席と参加態度20%、論文80%

教科書

なし

### 参考文献

その都度、授業で紹介する

## 資料特論

|         |         |
|---------|---------|
| 担当教員    | 二宮嘉須彦   |
| 授業形態    | 講義      |
| 学期      | 後期      |
| 必修・選択の別 | 必修      |
| 対象学生    | 1・2年司書  |
| 時間数     | 45分×15回 |
| 単位数     | 1単位     |

### 目標

受講生が各位の出身地の郷土資料等に基づき郷土に関するテーマを設定し、小論文を作成、発表する。このプロセスで諸資料の収集、選択などの資料処理作業を体験するとともに資料の必要性、妥当性を判断する能力を身につけさせる。また、併せて発表を通して自己表現力向上に資する。

### 各回の内容 (各回2時間)

- 1 郷土資料、地方行政資料等の実態
- 2 図書館資料の活用方策
- 3 小論文のテーマ設定と構成の着眼点
- 4 文献の活用とその引用に関する留意点
- 5 発表の技法～コミュニケーションの要点
- 6 小論文発表及び相互評価
- 7 小論文発表に対する講評
- 8 図書館資料全般の総括

### 準備学習

図書館はなぜ必要なのかという根本的な議論を心得ておくためにも、次の2冊を読んでおくこと。

①「図書館を生きる ―若い図書館員のために―」清水正三著 日本図書館協会、1995 ISBN4-8204-9508-9

②「知る自由の保障と図書館」塩見昇・川崎良孝編著 京都大学図書館情報学研究会発行 日本図書館協会発売、2006 ISBN4-8204-0623-X

### 評価方法

論文発表の内容及び態度 40%、  
学生の相互評価、40%、出席状況 20%

教科書 なし

参考文献 なし

## 図書館資料論

22年度入学者 2年次

|         |         |
|---------|---------|
| 担当教員    |         |
| 授業形態    | 講義      |
| 学期      | 前期      |
| 必修・選択の別 | 必修      |
| 対象学生    | 2年司書    |
| 時間数     | 90分×15回 |
| 単位数     | 2単位     |

### 目標

図書の歴史から初め、各種資料の発達と特徴を探る。特に、資料の選定方法について考察し、資料の選定及び管理、利用などに対する理解を養成する。履修者は図書館資料の取り扱いの全貌を得る。

### 各回の内容

- 1 図書の歴史（1） 古代・中世・近代
- 2 図書の歴史（2） 19世紀以降の西洋図書史
- 3 図書の歴史（3） 日本の図書史
- 4 図書館資料（1） 研究資料・娯楽資料の収集
- 5 図書館資料（2） 参考資料
- 6 図書館資料（3） 貴重書・特殊資料
- 7 論文の書き方
- 8 図書館資料（4） 視聴覚資料
- 9 資料選定（1） 公共図書館・視聴覚資料
- 10 資料選定（2） 大学図書館
- 11 資料選定（3） 児童図書館
- 12 著作権法
- 13 図書館資料の保存と管理
- 14 図書館資料の除架・除籍・更新
- 15 図書館資料の総括

### 準備学習

図書館に関する資料などを読み、論文課題のための文献調査を進める

### 評価方法

出席と参加態度20%、論文80%

### 教科書

なし

### 参考文献

その都度、授業で紹介する

## 資料組織概説

|         |         |
|---------|---------|
| 担当教員    | 邊見美江子   |
| 授業形態    | 講義      |
| 学期      | 前期      |
| 必修・選択の別 | 必修      |
| 対象学生    | 2年司書    |
| 時間数     | 90分×15回 |
| 単位数     | 2単位     |

### 目標

資料を組織化して容易に検索できる状態にして初めて利用者に役立つ図書館ができる。ここでは資料整理の原理を学習し、各種分類法および目録法などを学ぶ。図書以外の資料の扱いも重点的に探り、現代的な図書館の組織への理解を深める。分類法を考えることによって図書館の組織を肌で覚える。

### 各回の内容

- 1 分類の理論
- 2 目録及び検索の理論
- 3 資料分類（1）デューイ十進分類法
- 4 資料分類（2）日本十進分類法
- 5 資料分類（3）NDCの応用
- 6 資料分類（4）LCなど
- 7 資料分類（5）ローカル・ルールと請求記号
- 8 目録の概要
- 9 目録規則
- 10 MARC（機械可読目録）
- 11 主題
- 12 件名と標目
- 13 書誌ユーティリティと目録作成
- 14 書架の配置・点検・管理
- 15 資料組織の総括

**準備学習** 参考資料などを読み、企画書課題のための文献調査を進める

**評価方法** 出席と参加態度20%、論文80%

**教科書** なし

**参考文献** 「日本十進分類法 新訂9版」  
（日本図書館協会、1995年）  
「日本目録規則 1987年版改訂版」  
（日本図書館協会、1994年）

## 資料組織演習

|         |            |
|---------|------------|
| 担当教員    | 邊見美江子      |
| 授業形態    | 演習         |
| 学期      | 前期         |
| 必修・選択の別 | 必修         |
| 対象学生    | 2年司書       |
| 時間数     | 集中（6時間×4日） |
| 単位数     | 2単位        |

### 目標

「資料組織概説」で学習したことをより具体的に学んだ上、大学図書館の環境でその知識を活かす。各種資料の分類と目録作製を実践し、図書館の組織を体験的に覚える。

### 集中講義の内容

- 1 図書館資料の配置と整理
- 2 分類記号の構造
- 3 資料の情報源と主題
- 4 主題の分析
- 5 目録規則と作成法
- 6 目録カードの記入
- 7 標目の作り方
- 8 総括と振り替え

### 準備学習

「資料組織概説」の復習

### 評価方法

出席と参加態度20%、授業課題80%

**教科書** なし

### 参考資料

今まど子著「図書館学基礎資料」第九版  
大城善盛他著「改定 資料組織概説」（樹村房、2002年）  
「日本十進分類法 新訂9版」（日本図書館協会、1995年）  
「日本目録規則 1987年版改訂版」（日本図書館協会、1994年）

## 図書館サービス論

|         |         |
|---------|---------|
| 担当教員    | 佐々木よしみ  |
| 授業形態    | 講義      |
| 学期      | 前期      |
| 必修・選択の別 | 必修      |
| 対象学生    | 2年司書    |
| 時間数     | 90分×15回 |
| 単位数     | 2単位     |

### 目標

現代の図書館はどのようなサービスを利用者に提供すべきか？利用者はどのようなサービスを求めているか？図書館の基本的な機能を考えながら、多様化する奉仕の現状と提供方法を学ぶ。また、図書館のサービスをめぐる諸問題を論じ、サービスの評価・改善法を考える。

### 各回の内容

次の内容を15週の授業で実施する。

- 1 図書館サービスの理念
- 2 各種図書館のサービスの特徴
- 3 レファレンス・サービス
- 4 児童サービス
- 5 視聴覚サービス
- 6 テクニカル・サービス
- 7 サービスとネットワーク
- 8 多言語・多文化サービス
- 9 自己評価とサービスの管理
- 10 図書館とコミュニティ

### 準備学習

図書館見学

### 評価方法

課題80%、参加態度20%

### 教科書

「図書館サービス論」小田光宏著  
(日本図書館協会)

### 参考文献

その都度、授業で紹介する

## 専門資料論

|         |         |
|---------|---------|
| 担当教員    | 二宮嘉須彦   |
| 授業形態    | 講義      |
| 学期      | 後期      |
| 必修・選択の別 | 必修      |
| 対象学生    | 1・2年司書  |
| 時間数     | 45分×15回 |
| 単位数     | 1単位     |

### 目標

人類の文化を人文科学、社会科学、自然科学の各分野別にその知識の構造を理解するためそれぞれの分野の資料について概説するとともに、日本の図書館における現状と課題について考える。

### 各回の内容 (各回2時間)

- 1 暮らしと図書館
- 2 社会教育施設としての図書館機能
- 3 図書館関係法令
- 4 図書館の三要素と五原則
- 5 専門資料の種類及び収集、整理、保存
- 6 専門資料の活用方策とネットワークサービス
- 7 ライブリアンとしての役割、期待は何か

### 準備学習

図書館はなぜ必要なのかという根本的な議論を心得ておくためにも、次の2冊を読んでおくこと。

①「図書館を生きる ―若い図書館員のために―」清水正三著 日本図書館協会、  
1995 ISBN4-8204-9508-9

②「知る自由の保障と図書館」  
塩見昇・川崎良孝編著 京都大学図書館情報学研究会発行 日本図書館協会発売、  
2006 ISBN4-8204-0623-X

### 評価方法

出席と参加態度20%、論文80%

教科書 なし

参考文献 なし

## 生涯学習概論

|         |         |
|---------|---------|
| 担当教員    | 三瓶千香子   |
| 授業形態    | 講義      |
| 学期      | 後期      |
| 必修・選択の別 | 必修      |
| 対象学生    | 2年司書    |
| 時間数     | 90分×15回 |
| 単位数     | 1単位     |

### 目標

「ゆりかごから墓場まで」、自由に学習機会を選択し学ぶことができ、その成果が評価される社会において、個々人が自らの生きがいを見つけ、充実した人生を他者と共に学び合うことが生涯学習の主眼であることを理解できる。

### 各回の内容

- 1 生涯学習の基本的な考え方
- 2 生涯学習社会構築の必要性
- 3 生涯学習社会構築への取り組み調査(1)
- 4 生涯学習社会構築への取り組み調査(2)
- 5 青年期における学校教育と地域社会教育(1)
- 6 青年期における学校教育と地域社会教育(2)
- 7 青年期における学校教育と地域社会教育(3)
- 8 成年期の学習ニーズとボランティア
- 9 団塊世代と生涯学習
- 10 高齢者の生涯学習と実践活動
- 11 大学拡張論
- 12 生涯学習プログラミングの実践(1)
- 13 生涯学習プログラミングの実践(2)
- 14 生涯学習プログラミングの実践(3)
- 15 生涯学習活動の現状と将来の展望

### 準備学習

生涯学習・成人教育に関連するニュースに関心を持つ。グループワークによる生涯学習プログラム調査などに備える。

### 評価方法

授業への姿勢50% 提出物30%  
論文20%

### 教科書

香川正弘・鈴木眞理編『よくわかる生涯学習』(ミネルヴァ書房、2008年)

**参考文献** その都度、授業で紹介する

## 児童サービス論

|         |         |
|---------|---------|
| 担当教員    | 佐々木よしみ  |
| 授業形態    | 講義      |
| 学期      | 後期      |
| 必修・選択の別 | 必修      |
| 対象学生    | 2年司書    |
| 時間数     | 45分×15回 |
| 単位数     | 1単位     |

### 目標

児童の発達及び学習パターンを踏まえ、必要な図書館サービスを考察する。主な児童図書館資料を紹介し、児童サービスの実際と技術、プログラムの計画と実施などを考える。また、学校の教育と図書館との連携など児童サービスをめぐる諸問題を探り、児童と児童図書館への理解を深める。

### 各回の内容

次の内容を15週の授業で実施する。  
次のテーマについて考える。

- 1 児童サービスの概要
- 2 児童の発達
- 3 読書と言語の発達
- 4 絵本と児童文学の紹介
- 5 科学読物
- 6 児童のための選書
- 7 学校教育との連携
- 8 児童図書館の運営と計画
- 9 児童サービスのPRと評価

### 準備学習

図書館見学

### 評価方法

課題80%、参加態度20%

### 教科書

「新訂版 児童サービス論」堀川照代著  
(日本図書館協会)

### 参考資料

その都度、授業で紹介する

## 情報検索演習

|         |          |
|---------|----------|
| 担当教員    | 加藤竜哉     |
| 授業形態    | 演習       |
| 学期      | 後期       |
| 必修・選択の別 | 必修       |
| 対象学生    | 司書2年     |
| 時間数     | 90分×7.5回 |
| 単位数     | 1単位      |

### 目標

「情報サービス概説」などで学習することを大学図書館の中で体験する。各種情報サービスを検索することによって、効果的な利用方法を学習する。

### 各回の内容

- 1 情報要求の分析
- 2 キーワードの構造と活用
- 3 情報検索サービスの歴史
- 4 データベースの構造
- 5 情報検索の戦略と論理演算検索
- 6 図書館とインターネット
- 7 情報サービスの評価
- 8 まとめ

### 準備学習

インターネット、情報検索についての文献を閲覧する

### 評価方法

出席と参加態度20%、授業課題80%

### 教科書

なし

### 参考資料

今まど子著「図書館学基礎資料」第九版

## レファレンスサービス演習

|         |          |
|---------|----------|
| 担当教員    |          |
| 授業形態    | 演習       |
| 学期      | 後期       |
| 必修・選択の別 | 必修       |
| 対象学生    | 司書2年     |
| 時間数     | 90分×7.5回 |
| 単位数     | 1単位      |

### 目標

レファレンス・サービスを行う上で必要な技術を大学図書館における実践を通して学習する。参考道具、主な参考書、レファレンス・インタビューなどについて学ぶ。

### 各回の内容

- 1 主要な参考書
- 2 レファレンス・インタビュー
- 3 参考業務演習問題
- 4 参考業務の理念
- 5 参考業務演習問題
- 6 電話応対
- 7 総括と振り替え

### 準備学習

レファレンス・サービスについての文献を閲覧する

### 評価方法

出席と参加態度20%、授業課題80%

### 教科書

なし

### 参考資料

今まど子著「図書館学基礎資料」第九版  
全国学校図書館協議会編「参考図書研究ガイド」第3版

## コミュニケーション論

|         |           |
|---------|-----------|
| 担当教員    | 加藤竜哉      |
| 授業形態    | 講義        |
| 学期      | 後期        |
| 必修・選択の別 | 必修        |
| 対象学生    | 司書1年・2年合同 |
| 時間数     | 45分×15回   |
| 単位数     | 1単位       |

### 目標

人間は、進化の道を経て他の動物より高度なコミュニケーション技術を持つようになった。この能力は何のためにあるのか、どう活かせばよいのかを考えてから、現代社会の中のコミュニケーションにおける課題を論じる。また、図書館とコミュニケーションの関係を見つめる。

### 各回の内容

- 1 コミュニケーションとは何か
- 2 動物コミュニケーション
- 3 非言語コミュニケーション
- 4 言葉の登場
- 5 文化はコミュニケーションである
- 6 話し言葉
- 7 書き言葉
- 8 組織とコミュニケーション
- 9 電話のコミュニケーション
- 10 映像とコミュニケーション
- 11 ラジオとテレビの社会学
- 12 国際コミュニケーション
- 13 コンピュータとコミュニケーション
- 14 図書館とコミュニケーション
- 15 コミュニケーション論の総括

### 準備学習

コミュニケーション学についての文献を閲覧する

### 評価方法

出席と参加態度20%、論文80%

### 教科書

なし

### 参考文献

その都度、授業で紹介する

## 資料特論

|         |         |
|---------|---------|
| 担当教員    | 二宮嘉須彦   |
| 授業形態    | 講義      |
| 学期      | 後期      |
| 必修・選択の別 | 必修      |
| 対象学生    | 1・2年司書  |
| 時間数     | 45分×15回 |
| 単位数     | 1単位     |

### 目標

受講生が各位の出身地の郷土資料等に基づき郷土に関するテーマを設定し、小論文を作成、発表する。このプロセスで諸資料の収集、選択するなどの資料処理作業を体験するとともに資料の必要性、妥当性を判断する能力を身につけさせる。また、併せて発表を通して自己表現力向上に資する。

### 各回の内容 (各回2時間)

- 1 郷土資料、地方行政資料等の実態
- 2 図書館資料の活用方策
- 3 小論文のテーマ設定と構成の着眼点
- 4 文献の活用とその引用に関する留意点
- 5 発表の技法～コミュニケーションの要点
- 6 小論文発表及び相互評価
- 7 小論文発表に対する講評
- 8 図書館資料全般の総括

### 準備学習

図書館はなぜ必要なのかという根本的な議論を心得ておくためにも、次の2冊を読んでおくこと。

①「図書館を生きる ―若い図書館員のために―」清水正三著 日本図書館協会、1995 ISBN4-8204-9508-9

②「知る自由の保障と図書館」塩見昇・川崎良孝編著 京都大学図書館情報学研究会発行 日本図書館協会発売、2006 ISBN4-8204-0623-X

### 評価方法

論文発表の内容及び態度40%、  
学生の相互評価、40%、出席状況20%

### 教科書

なし

### 参考文献

なし